

むずむず脚
症候群？

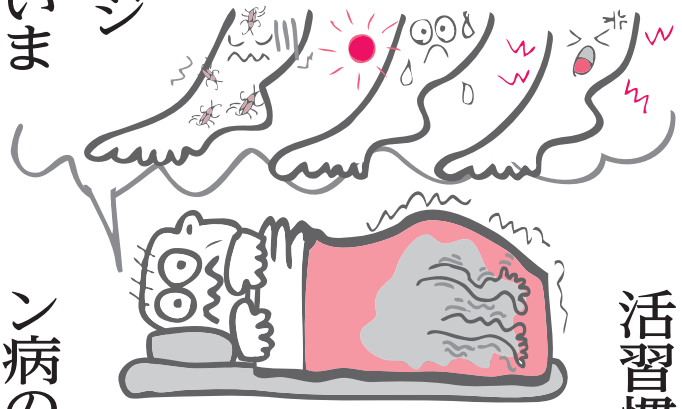


むずむず脚症候群と間違えやすい
病気や症状はありますか。

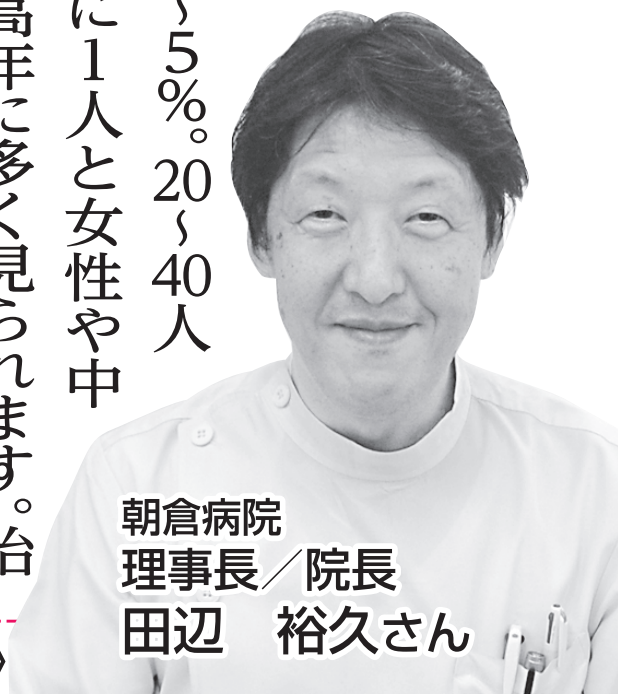


夕方から夜に
かけてむずむず
と感じる不快感

も「虫がはつている」「針で刺すような」「火照る」「痛い」や単に振動を感じるなど多様で、筋肉痛やこむら返り、特に下肢の浮腫、関節炎、坐骨(ごこつ)神経痛や皮膚の疾患など、中にはうつ病だったりすることもあります。また向精神薬などの副作用で生じるアカシジアも症状が似ていますが、一日中落ち着かない、上半身に多い点で違います。確かにむずむず脚症候群は聞き慣れない疾患ではありますが、案外患者数は多く、日本では人口の約2



〜5%。20〜40人に1人と女性や中高年に多く見られます。治療はアルコール、カフェインやたばこを控えるなどの生活習慣の改善、疑われる病気や薬がある場合は気や薬がある場合は病気の治療や薬の中止、特に鉄が不足している場合は鉄分の補給です。原因不明の場合はパーキンソン病の治療に使われるドーパミンを補充する薬などの使用や、自律神経を整えることも行われます。いずれにせよまずは受診、むずむずは脚でも、打つのは手、早めに手を打ちましょう。



朝倉病院
理事長／院長
田辺 裕久さん